


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

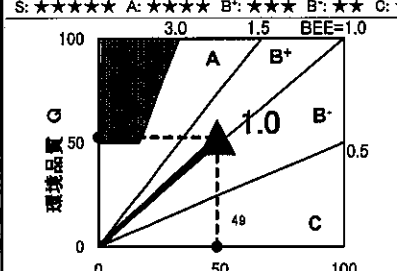
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	南越谷・PJ新築工事	階数	地上8階
建設地	埼玉県越谷市	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住宅専用地域	平均居住人員	62人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年11月6日
敷地面積	1,884㎡	作成者	高松建設株式会社 東京本店
建築面積	748㎡	確認日	2024年11月6日
延床面積	4,325㎡	確認者	高松建設株式会社 東京本店



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

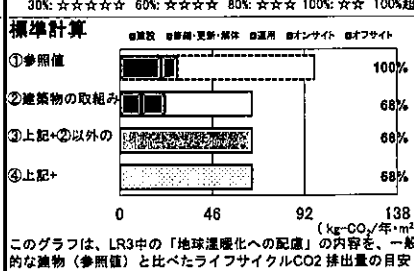
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



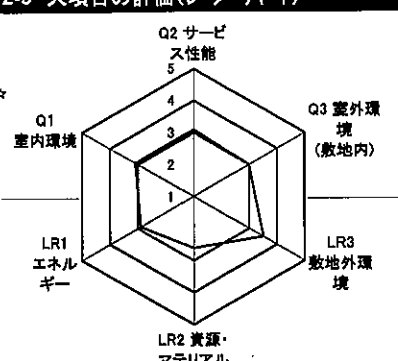
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

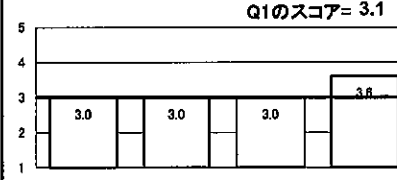


2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.1

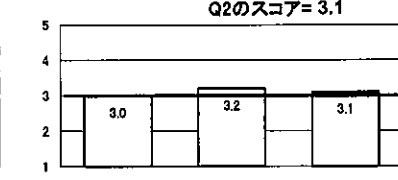
Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1



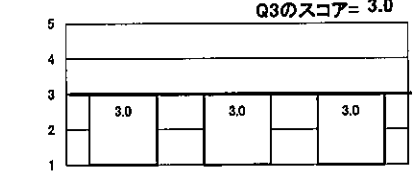
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1



Q3 室外環境 (敷地内)

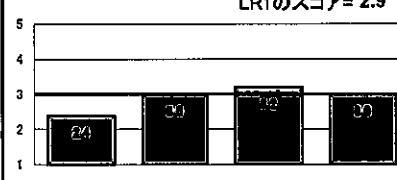
Q3のスコア = 3.0



LR のスコア = 3.0

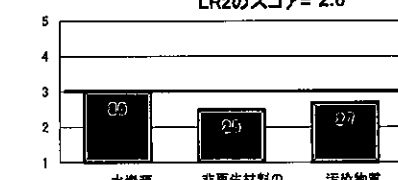
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9



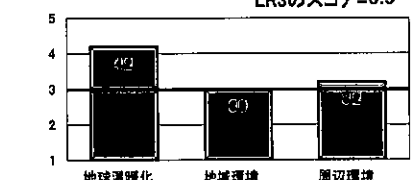
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5



3 設計上の配慮事項		その他
総合 埼玉県越谷市内における共同住宅として、周辺環境に配慮し、ライフサイクルCO ₂ 排出量を抑制した計画。		特になし。
Q1 室内環境 内装材はF★★★★のものを使用割合70%以上採用している。	Q2 サービス性能 主要な用途上位3種の2種類以上の配管素材にB以上を使用し、配管設備の更新必要期間を少なくしている。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 住宅部分BEI=0.97、非住宅部分BEI=0.27	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率68%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 南越谷・PJ新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	Q1		Q2		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質			0.40			2.8
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.47	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.47	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能			-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.05		-	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.59	3.0	0.63	
2 外皮性能		3.0	0.32	3.0	0.38	
3 ソーン別制御性		3.0	0.09		-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.35	3.0	0.30	
1 屋光率		3.0	0.44	3.0	0.50	
2 方位別開口			-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備		3.0	0.56	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.22	3.0	0.30	
1 屋光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.11	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.32	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.57	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	主要な建材にF☆☆☆☆を使用、使用割合は70%以上を確保	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.37	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能			-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		4.0	0.05		-	
1 CO ₂ の監視		5.0	0.50		-	
2 喫煙の制御	非住宅部分は禁煙を徹底している	5.0	0.50		-	
Q2 サイバシビリティ			0.30			3.1
1 機能性		2.9	0.40	3.0	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性			-		-	
2 高度情報通信設備対応			-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		2.8	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		1.0	0.09	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.09		-	
3 内装計画		3.0	0.82	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30		-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.9	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当	5.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニルクロスの使用(耐用年数20年)	4.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途2種以上にBを使用し、Eは不使用	5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		3.0	0.20		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-	

		3.0	0.30	3.3	1.00	3.1
3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.3	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり		3.0	0.08	3.6	0.50	
1 階高のゆとり		3.0	0.60	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
住宅部分は階高2.9m以上		3.0	0.08	3.0	0.50	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.08	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	0.84	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
G3 省エネルギー(地域内)		2.0	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						2.9
LR1 エネルギー		3.0	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		2.4	0.20	-	-	2.4
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		3.2	0.50	-	-	3.2
住宅BEI=0.97、非住宅BEI=0.27		3.0	0.20	-	-	3.0
4 効率的運用		3.0	0.27	-	-	
集合住宅以外の評価		3.0	0.50	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		3.0	0.73	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・材料		3.0	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		2.7	0.20	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		2.6	0.70	-	-	
1 消火剤		2.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 地域環境		3.0	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		4.2	0.33	-	-	4.2
ライフサイクルCO2排出率68%		2.0	0.33	-	-	2.0
2 地域環境への配慮		3.0	0.25	-	-	
2.1 大気汚染防止		1.0	0.50	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.2	0.25	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		4.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
適切な駐車・駐輪スペースの確保		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.2	0.33	-	-	3.2
3 周辺環境への配慮		3.0	0.40	-	-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	1.00	-	-	
1 騒音		-	-	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		3.0	0.40	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.70	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.30	-	-	
2 砂塵の抑制		4.4	0.20	-	-	
3 日照阻害の抑制		5.0	0.70	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.30	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.30	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	
光害対策ガイドラインの過半満たしており、広告物照明の設置なし						

CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	南越谷・PJ新築工事	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
4.2	+	1.3	=	5.5 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.2
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.2
ライフサイクルCO2排出率68%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
条例を遵守した適切な緑化計画			

: 入力欄